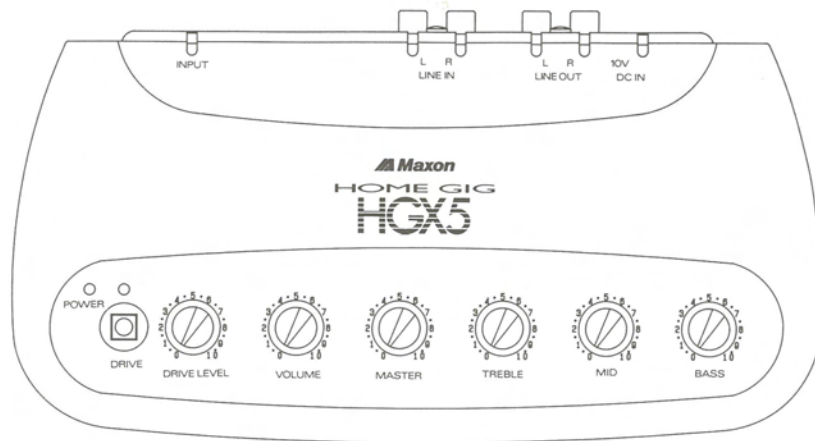


HOME GIG

HGX5



取扱説明書

はじめに

このたびは、マクソン・ギターアンプ・シミュレーター（HOME GIG）HGX5をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

本機はギターアンプを使用せずに、オーディオ・ステレオアンプを利用してエレクトリックギターを演奏するためのインターフェイスです。

ギターアンプ特有の音響特性がご家庭のステレオ（オーディオアンプ）で再生でき、内蔵のディストーション回路によりギターアンプの特長であるオーバードライブ・サウンドや、ハードディストーション・サウンドが簡単にクリエイトできます。

また、ミキシング回路によりCDやカセットテープの音をバックにギターを演奏したり、ギターアンプを使用せずに、ライン接続でのMTR（マルチ・トラック・レコーディング）も可能にした、パーソナル・トレーニング・ギアです。

ご使用になる前にHGX5の性能を十分に発揮させ、正しくお使いいただくために、この取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は保証書と一緒に大切に保管してください。

主な特徴

- ◆エレクトリックギター用イコライザーとスピーカー・シミュレーション回路により、ご家庭のステレオに接続するだけで、ステレオをギターアンプとしてご使用いただけます。
- ◆付属のACアダプターにより、長時間の使用でも安定した電力が得られます。
- ◆ギターアンプ特有のきらびやかな高音、味わい深い中音、タイトな低音を、再生し、ディストーション回路により、ロックやポップスで良く使われるディストーションサウンドがかんたんにクリエイトできます。
- ◆通常のギターアンプと同様の3バンド・イコライザーを搭載し、ギターの特性に合わせた音質補正が可能です。
- ◆ドライブ・スイッチにより、ワンタッチでノーマルサウンドとディストーション・サウンドの切り替えが可能です。
- ◆CDやカセットテープの再生音にギターサウンドをミックスし、ミュージック・ソースとの競演や、マイナスイオン・テープを利用したのギタートレーニングが可能です。
- ◆PAミキサーやレコーダーに接続すれば、ギターアンプを使わずに、そのままライブ演奏やレコーディングが可能です。
- ◆本機をオーディオアンプではなくギターアンプに接続し、ギターアンプのプリアンプとして使用することによりギターアンプのサウンドバリエーションを広げることが可能です。

ご使用の前に

〔設置場所について〕

次のような場所でのご使用は、誤動作や故障の原因となりますのでお避けください。

○振動の多い場所 ○ラジオ、テレビ、蛍光灯等のすぐそば ○直射日光の当たる場所
○高温、多湿の場所 ○砂やホコリの多い場所

※締め切った自動車の中なども、高温になり本体が変形する恐れがありますので、ご注意ください。

〔電源について〕

本機の使用には必ず付属のACアダプター（Maxon 10V 200mA）をご使用ください。ほかのACアダプターをお使いになりますと、誤動作や故障の原因となるばかりでなく、アダプター本体が発熱して危険です。また、長時間ご使用にならない時は、安全のためACアダプターをコンセントから抜いておいてください。

付属のACアダプターは国内(AC100V 50/60Hz)専用で、海外ではご使用になりません。海外でご使用になる場合はご相談ください。

〔接続について〕

接続はアンプやスピーカー保護のため、本機や接続する機器の電源を全てOFFにするか、ボリュームを0にしてから行ってください。

〔お手入れについて〕

お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー等の溶剤を使用しますと、外装が溶けたり、塗装がはげる恐れがあります。

〔保証、アフターサービスについて〕

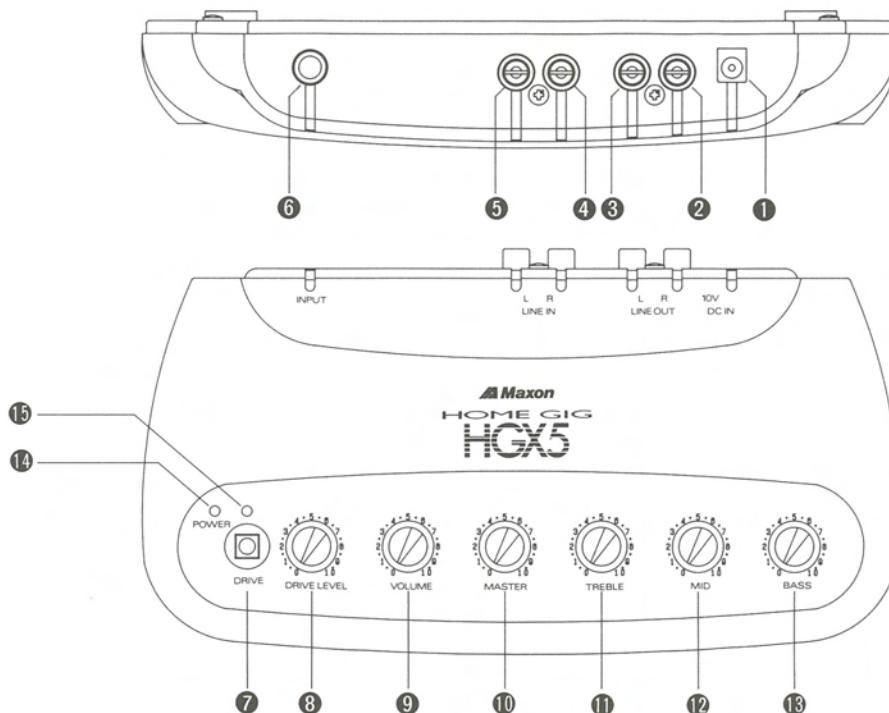
製品に添付されている保証書には、販売店の捺印が必要です。所定事項をご確認の上、大切に保管してください。

お買い上げ日より一年間は保証期間となり、保証書の記載事項の範囲内で当社アフター機関が無償にて修理、調整をさせていただきます。修理依頼はお買い上げの販売店にご用命ください。

目次

ご使用の前に	3
各部の名称と働き	4
接続例	6
セッティング例	9
主な規格、寸法図	11

各部の名称と働き



- ① DC IN (ディーシーイン・ジャック)
付属のACアダプターを接続するジャックです。ACアダプターのプラグが接続されると電源が入り、パワーインジケータ⑭が点滅します。
- ② LINE OUT R (ラインアウト・ジャック 右チャンネル)
HGX5の右チャンネルの出力端子です。オーディオアンプの右チャンネルの入力系に接続します。詳しい接続方はイラストをご覧ください。
- ③ LINE OUT L (ラインアウト・ジャック 左チャンネル)
HGX5の左チャンネルの出力端子です。オーディオアンプの左チャンネルの入力系に接続します。詳しい接続方はイラストをご覧ください。
- ④ LINE IN R (ラインイン・ジャック 右チャンネル)
テープレコーダーやCDプレーヤーの右チャンネルからの出力を接続します。詳しい接続方はイラストをご覧ください。
- ⑤ LINE IN L (ラインイン・ジャック 左チャンネル)
テープレコーダーやCDプレーヤーの左チャンネルからの出力を接続します。詳しい接続方はイラストをご覧ください。

⑥ INPUT (インプット・ジャック)

主にエレクトリック・ギター等の電気楽器を接続します。フォン・プラグ(標準プラグ)をご使用ください。

⑦ DRIVE (ドライブ・スイッチ)

内蔵のディストーション回路をONさせるスイッチです。スイッチONでインジケータ⑮が点灯し、ディストーション・サウンドになり、スイッチOFFでインジケータが消灯し、ノーマル・サウンド(クリア・サウンド)になります。

⑧ DRIVE LEVEL (ドライブ・レベル)

DRIVE ⑦がONの時に使用します。右に回すほど歪みと低域が増し、太いハード・ディストーション・サウンドになり、左へ回すほど歪みが減少し、マイルドなオーバードライブ・サウンドになります。DRIVE ⑦がOFFの時は働きません。

⑨ VOLUME (ノーマル・ボリューム)

DRIVE ⑦がOFFの時に使用し、ノーマル・サウンドの音量と音色をコントロールします。右に回すほど音量が増し、音が太くなります。DRIVE ⑦がONの時は働きません。特にクリアな音色をお望みの場合はMASTER ⑩を右いっぱい固定し、VOLUME ⑨にて音量調節を行います。

⑩ MASTER (マスター・ボリューム)

⑧や⑨によってつくられたサウンド全体の音量をコントロールします。右に回すほど音量が増し、左いっぱいでは音が出なくなります。

⑪ TREBLE (トレブル・コントロール)

高音をコントロールします。右へ回すほど高音域が強調され、音にメリハリが出ます。

⑫ MID (ミドル・コントロール)

音質を決める際に重要な中音をコントロールします。右へ回すと中音域が強調され、左へ回すと減少します。音質の好みに合わせてセットしてください。

⑬ BASS (ベース・コントロール)

低音をコントロールします。右へ回すほど低音域が強調され、太く重いサウンドになります。

接続例

まず、エレキギター・ギターのアウトプットをHGX5のINPUTへ接続します。

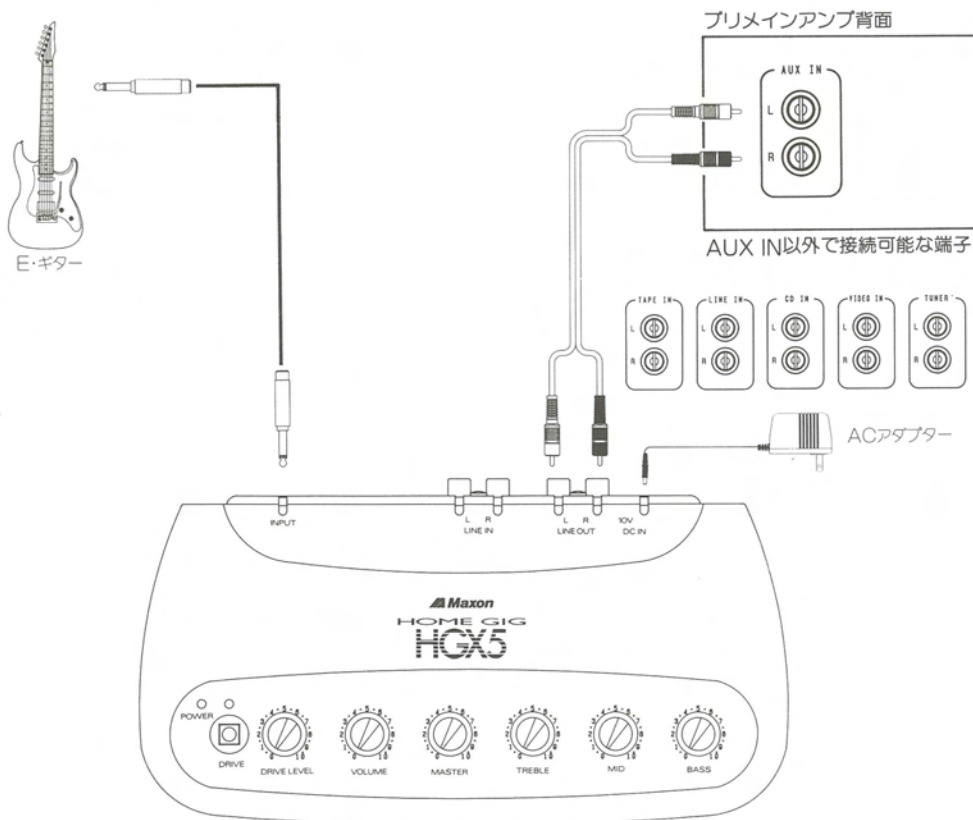
1 テープやCDとのミキシングを行わない場合

オーディオ・プリメイン・アンプのAUX IN端子にHGX5のLINE OUTを接続します。お手持ちのオーディオシステムにAUX INが無い場合や、ふさがっている場合は、LINE IN、TAPE IN、CD IN、VIDEO IN、TV TUNER等に接続しても差し支えありません。オーディオ・プリメイン・アンプのファンクション（ソース）をHGX5を接続したポジションに切り替えてから使用してください。

※ご注意

この接続方法の場合、エレキギター・ギターの音声のみが再生され、テープやCDの音声を聞くことはできません。

CD DAT BS VIDEO 1 VIDEO 2 AUX TAPE TUNER PHONO
プリメインアンプのソースポジションをHGX5のラインアウトを接続したポジションに合わせます。

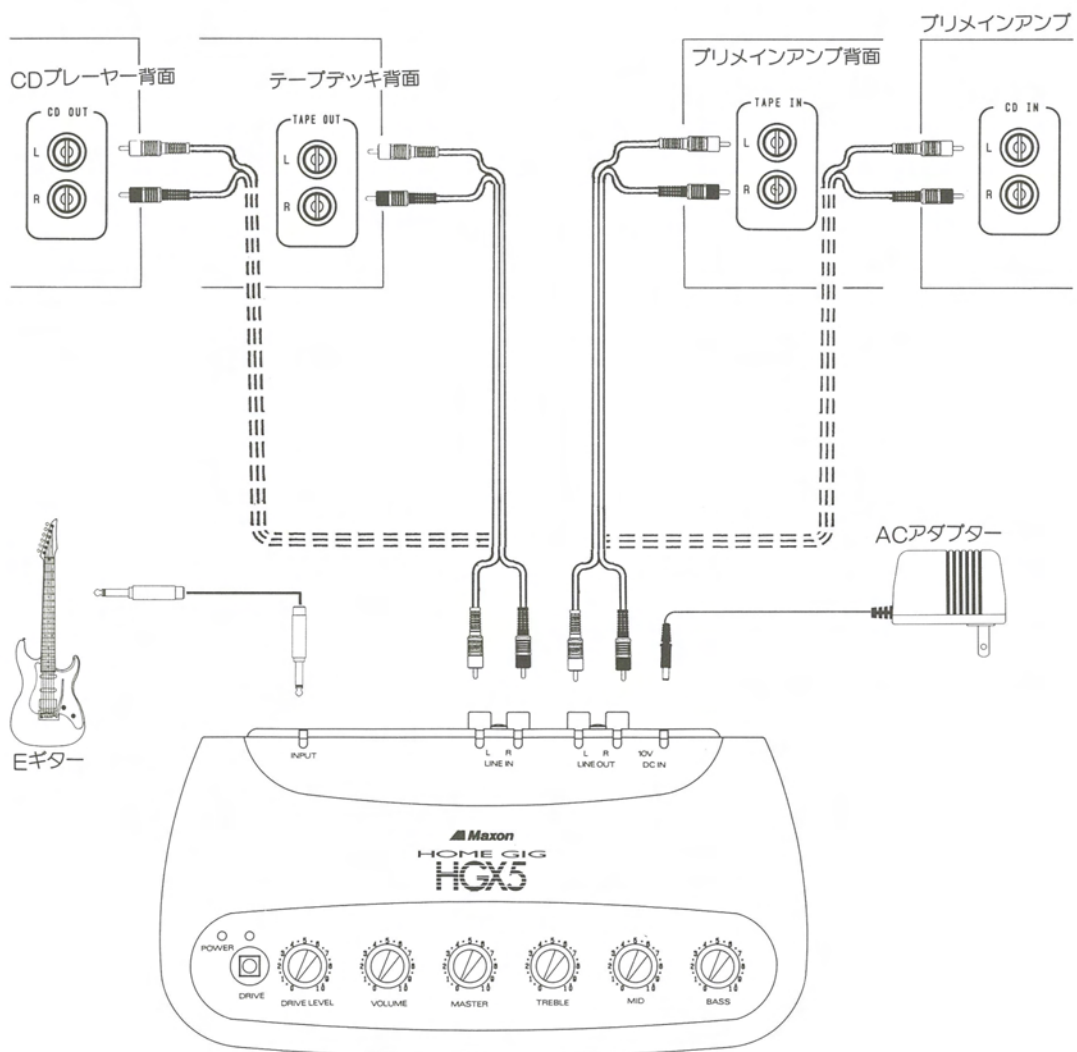


2 ミキシング回路を使用し、テープを聞きながらギターを演奏する場合

テープ・デッキのLINE OUT(再生、PB)をHGX5のLINE INへ接続し、HGX5のLINE OUTをオーディオ・プリメイン・アンプのLINE IN (TAPE IN、再生、PB)へ接続します。オーディオ・プリメイン・アンプのソースポジションをTAPEに切り替えてから使用してください。

3 ミキシング回路を使用し、CDを聞きながらギターを演奏する場合

CDプレーヤーのCD OUTをHGX5のLINE INへ接続し、HGX5のLINE OUTをオーディオ・プリメイン・アンプのCD IN (もしくはAUX IN)へ接続します。オーディオ・プリメイン・アンプのソースポジションをCD (もしくはAUX IN)に切り替えてから使用してください。



※ご注意

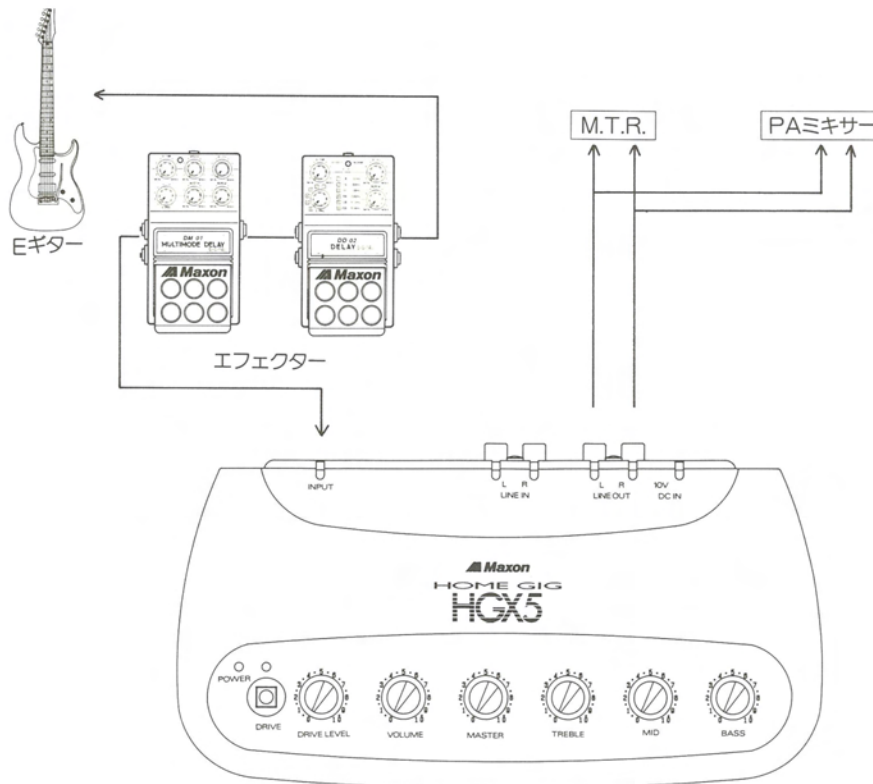
- この接続のままギターを演奏せず、テープやCDの音声のみを聞く場合は、必ずHGX5のMASTERを0に絞ってください。
- テープやCDの音量を、オーディオ・プリメイン・アンプのボリュームで調節してから、HGX5のMASTERでギターの音量を調節してください。
- テープデッキ、CDプレーヤー等が、プリメイン・アンプと一体化されているミニコンポやラジカセで、CD OUT、TAPE OUT およびCD IN、TAPE IN端子が装備されていないものは、テープやCDとのミキシングができませんのでご了承ください。
- 接続には必ずオーディオ用ピンプラグを使用してください。

4 エフェクターの接続方法

エフェクターを使用する場合は、エレクトリック・ギターのアウトとHGX5のINPUTの間に、エフェクター類を接続してください。

5 ライヴステージやレコーディングでの使用法

HGX5のLINE OUTをPAミキサーに接続すればライブ演奏が、レコーディング・ミキサーやマルチトラック・レコーダーに接続すればレコーディングが、それぞれギターアンプが無くても、ギターアンプを使用した場合と同等の音質で行えます。



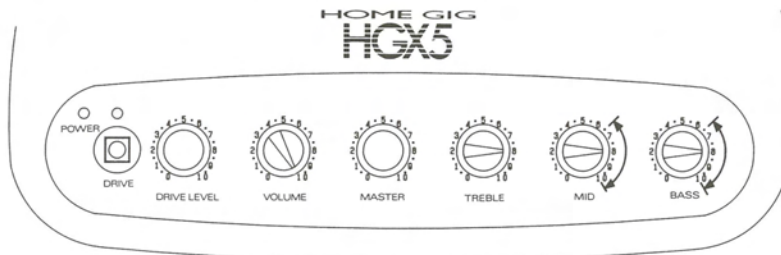
※本機を直接ギターアンプに接続し、ギターアンプのリアンプとしてご使用になる場合は図のようなPIN→PHONEコードかPIN→PHONEプラグ変換アダプターを使用し、ギターアンプのインプットに本機のラインアウト(L,Rどちらか)を接続してください。



サンプル・セッティング

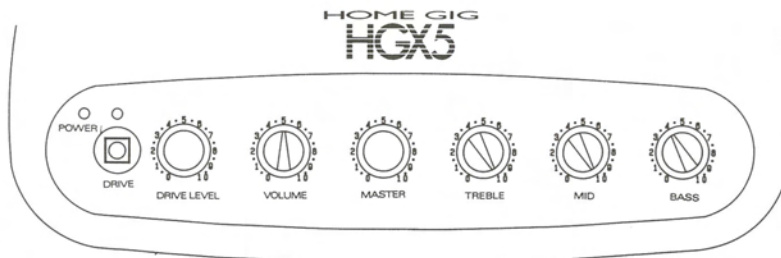
○クリーンサウンド I

チューヴ・アンプのクリーン・トーンを思わせるセッティング。ギターの種類に合わせ、好みに応じてMIDを調節しよう。



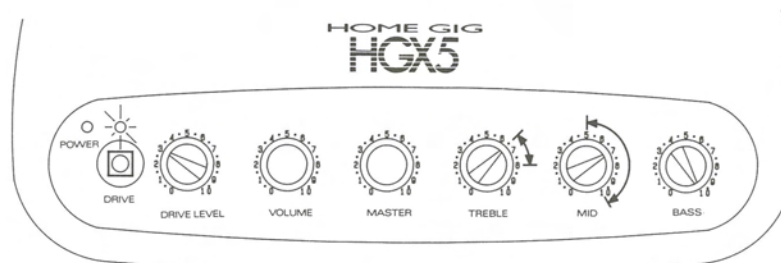
○クリーンサウンド II

レコーディングなどのライン録りに有効。ブライトでシャープなトーンは16ビット系やフュージョンなどのカッティングにもってこい。



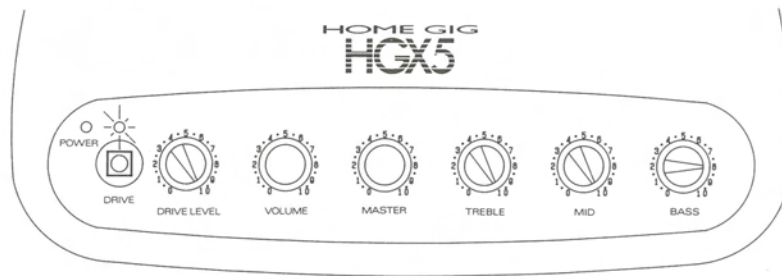
○オーバードライブ

ハードロックからロックン・ロール、ビート系などのパッキングからソロまで、幅広く使えるセッティング。好みに応じてMIDを調節しよう。



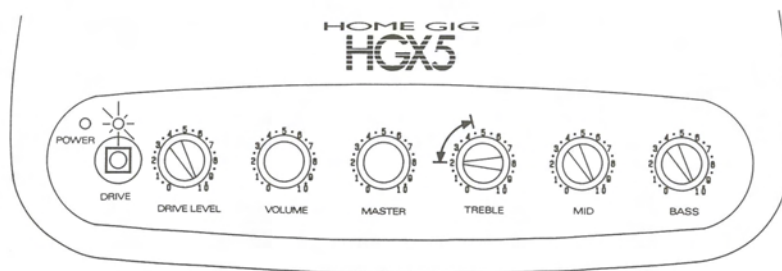
○ヘヴィ・メタル I

エッジの効いたパワフルなディストーション・サウンド。シングル・コイル・ギターの場合は好みに応じてBASSを強めに。

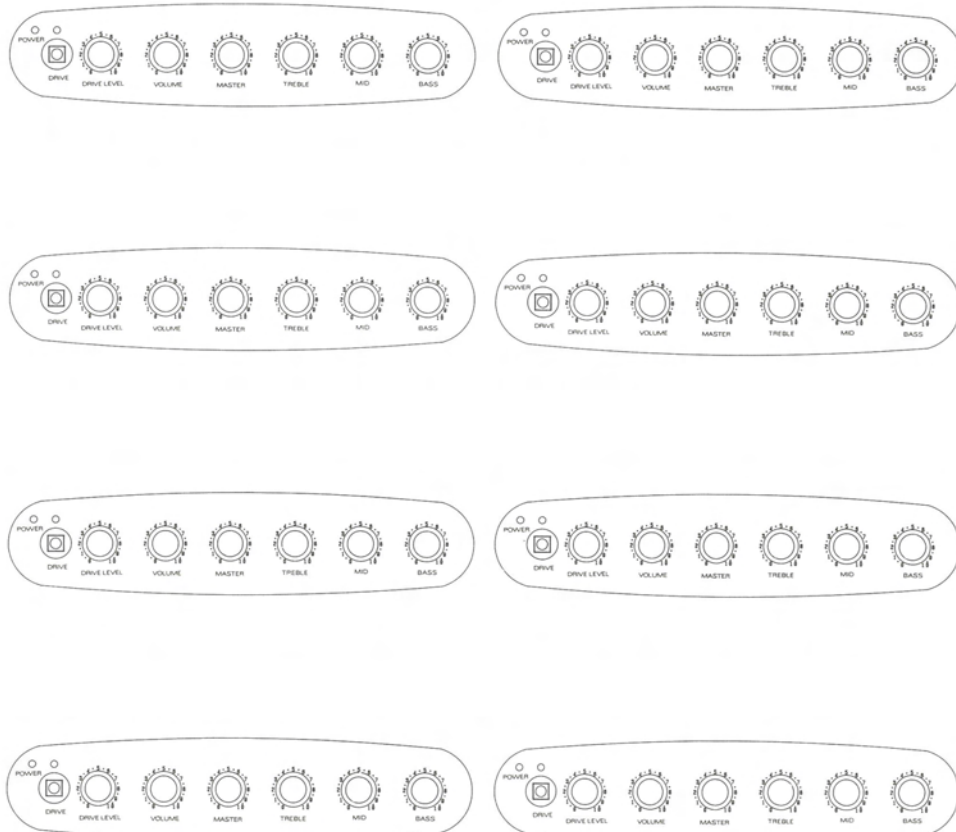


○ヘヴィ・メタル II

ヘヴィ・メタルのリフやバックিংに向く低音をいかしたヘヴィなサウンド。もちろんMASTERを上げればギター・ソロにもOK。



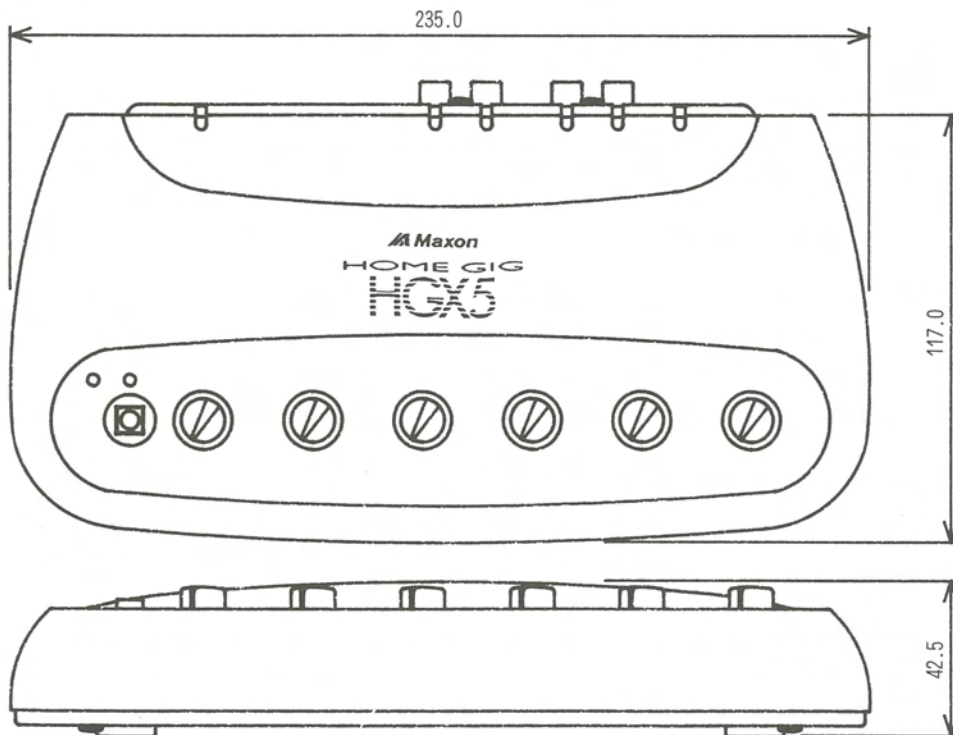
MEMO



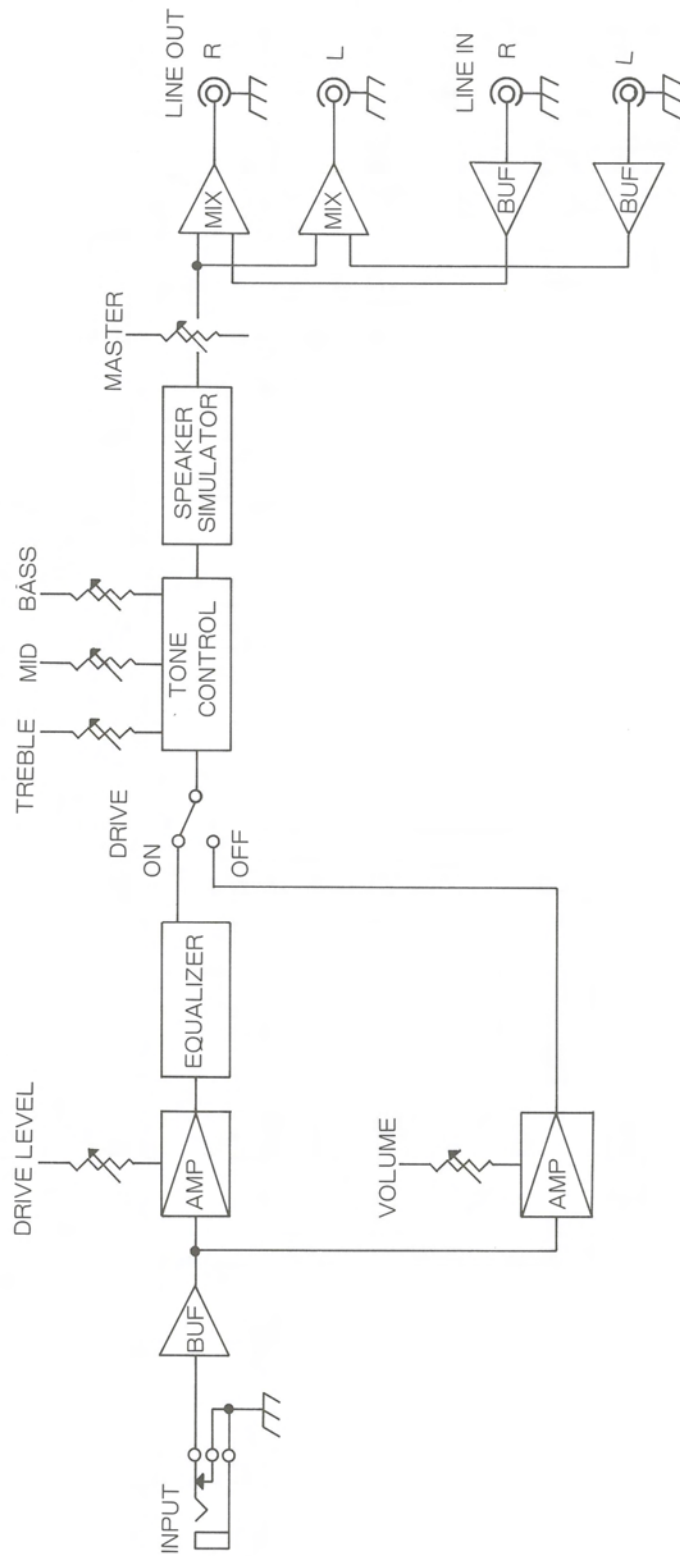
主な規格

入力インピーダンス	INPUT : 500K Ω LINE IN(L),(R) : 10K Ω
出カインピーダンス	LINE OUT(L),(R) : 10K Ω 以下
入力換算ノイズ (IHF-Aカーブ入力ショート)	-92dBV
消費電流	40mA
電源	付属ACアダプター (200mA)
寸法 重量	235(W) \times 42.5(H) \times 117(D)mm 370g
コントロール	DRIVE LEVEL/VOLUME/MASTER/ TREBLE/MID/BASS
インジケータ	POWER/DRIVE
接続端子	INPUT/LINE IN L/LINE IN R/ LINE OUT L/LINE OUT R/DC IN

寸法図



HGX5 BLOCK DIAGRAM



Maxon
advanced technology works.

株式会社日伸音波製作所
UMN-HGX-0101A

NOV 1989 MAXON Printed in Japan